

ちくさえとこ通信

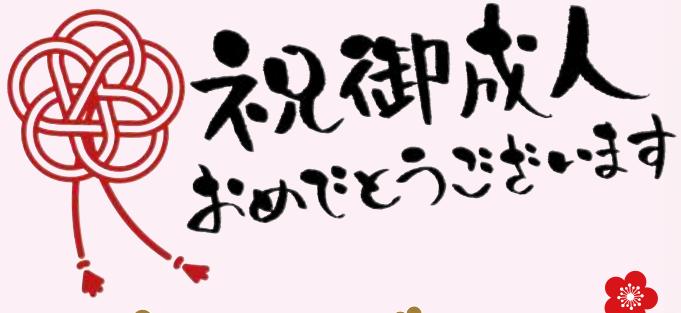
No.20

令和4年 祝ちくさ 成人を祝う会

2022.1.15 発行



▲千種南小学校



▲千種北小学校

1月2日に新庁舎「ライブリーちくさ」の初イベントとして「成人を祝う会」が開催されました。
ご成人おめでとうございます。



ちくさ杉の子こども園

2学期は少しずつ連携交流行事ができ始め、お話広場（小学4年生）・ふれあい交流（中学3年生）・英語であそぼう（中学校ALTの先生）をすることができました。



どんな話かな・・・？



クリスマスカードをもらったよ

クリスマス会では、『うさぎ野原のクリスマス』のダンスを踊ったり、『サンタはいまごろ』を歌ったり、合奏したりして楽しみました。サンタクロースにプレゼントをもらって大喜びの子ども達でした。



「サンタはいまごろ何してる？」



『シャンシャンシャララ～♪』



サンタさんと一緒に

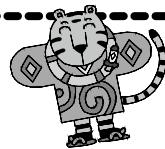


「キラキラつけたよ～」

ちくさを学ぶ ちくさで学ぶ

「ちくさの人やもの」とかかわって学び
「ふるさと千種」を愛する心を育んでいます

千種小学校



10月以降、新型コロナウイルス感染症の拡大も下火となり、様々な行事や体験活動については、時間を短縮したり実施方法を工夫したりして実施してきました。運動会は午前中のみの開催とし、観覧者も制限して実施しました。合同での文化祭はできませんでしたが、小学校は「学習発表会」として、劇や総合学習の発表を見てもらいました。12月には、園小中高合同マラソン大会をほぼ完全な形で実施することができ、地域の皆さんに子どもたちの元気な姿を見ていただき、温かい応援もいただきました。

体験活動についても、実施形態を工夫して学習を進めてきました。今回は次の2つの体験活動を紹介します。

☆手洗い指導 (11/22)



穴粟食品衛生協会の方の指導で、1・2年生が手の正しい洗い方を学習しました。洗った手をLEDの手洗いチェッカーに入れて手の汚れを見るという実験をしました。丁寧に洗ったつもりでも、汚れが残っている部分は光って見えます。子どもたちは、自分の手が光って見えることに大きな驚きを示していました。それと同時に、目には見えないけれど、まだ汚れが残っていることに気づき、正しい手の洗い方を教えてもらいました。



☆紙すき体験 (11/1)

河内在住の吉留新一さん（播州ちくさ手漉和紙工房）の指導で、6年生が自分たちの卒業証書になる和紙を作る紙すき体験を行いました。材料となるみつまたは、9月に七野の山で探ってきたもので、吉留さんと一緒に皮を剥ぐ作業もしました。

当日は、和紙づくりのことや作業工程について丁寧な説明を聞いた後、作業に取り組みました。子どもたちは二度目の体験なので、どの子も手際よく楽しんで作業を進めました。先人の知恵や工夫を感じることのできる一日となりました。

10月18日には、4年生も紙すき体験で、はがきづくりに挑戦しました。



千種中学校

12月2日（木）に1年生は阿曾茂夫先生、2年生は藤原誠先生、3年生は春名勉先生をお招きして、千種学（特色ある授業）「千種川源流域の魅力」「住んで嬉しい 来て楽しい町にしよう」「千種の将来を担う君たちへ」というテーマで、授業をしていただきました。

【千種学1年生】 千種川のきれいな水質のおかげで、千種では、おいしいお米やアユをとることができることや、そのきれいな水を保つために、プロバレーボールチームの「ヴィクトリーナ姫路」が植樹事業に関わっていることなどを教えていただきました。

千種川が全国名水百選に選ばれていること、クリンソウも日本の花風景77に選ばれていますことにびっくりしました。千種の魅力をたくさん知ることができます。

1年生 上山 侑己さん



【千種学2年生】 千種の現状を考えたり、千種の良さを共感したり、これからどのような町にしていったら良いかを考えました。そして、「私の住みたい町」を紙に書き、黒板に張り付けて全員で共有しました。

「商店街復活」「自習ができる施設」「ご当地アイドル」「観光地」「子どもが安全に遊べる場所」「お花畠」「広い道」「公園」「桜街道」「雑貨屋」などたくさんの意見が出て楽しかったです。

町の良いところも課題も千種に住んでいる私たちだからこそ分かることです。10年後も20年後もその先もみんなが楽しく過ごしやすい町になるように、できることを少しずつやっていきたいと思います。

2年生 磯崎 安里沙さん



【千種学3年生】 「勉強は何のためにするんだろう?」「それは、物事を美しく見ることができるようになるためです。」「ちくさの名前はどこから来たんだろう?」「しきぐさ」からです。」「秋の七草を覚えてください。」「秋の七草、漢字にすると美しいでしょう。」とお話を聞くうちにどんどん引き込まれていきました。そして、いつか千種を巣立つ時が来るだろう3年生に、千種を離れて暮らすおばさんの手紙や新聞のコラムをとおして、『懐かしさ』という情緒を教えていただきました。実際に千種を離れたことのない生徒たちには、まだピンとこなかったかもしれませんのが、大人になり、ふと故郷を思うとき、『懐かしさ』という情緒が思い出されるかもしれません。

私が1番印象に残っていることは、「ちくさ」の名前の由来は「しきぐさ」から来ているということです。他にも秋の七草を知れたり、漢字で書けば美しく見えるというのも新しい発見でした。

3年生 平瀬 悠権さん



2年連続の金賞受賞！千種高校

昨年、全国農業高校お米甲子園で金賞を受賞し本校のお米が注目を浴びましたが、今年も「第15回あなたが選ぶ日本一おいしい米コンテスト」高校生部門で優秀金賞を獲得しました。

11月27日（土）山形県東田川郡庄内町で開催された決勝大会に1学年生徒を代表して大垣風空さん（山崎南中出身）と担任の村上先生に参加してもらい、決勝に勝ち上がった本校を含む全国6校の中でトップ（最高金賞）を目指してご飯のおいしさを競いました。その結果、本校は惜しくも最高金賞は逃しましたが、それでも全国2位に相当する優秀金賞が確定しました。2年連続で金賞が受賞できることを1学年の生徒、お米づくりに係わってくれた小中学生をはじめ多くの方々と共に喜びたいと思います。

今年の総合的な探究の時間を活用した1学年のイネの栽培で得た課題は、来年の1年生にまた引き継がれます。来年も、最高金賞を獲得するための探究活動は続きます。今後、この金賞米はちくさ学級給食センターへの寄贈、1月には宍粟市内の道の駅で販売と売上



金の寄付等を計画しています。是非、本校生と千種小中学生が育てた美味しいお米をご賞味ください。



★★★ライブリーちくさ★★★

オープンしました

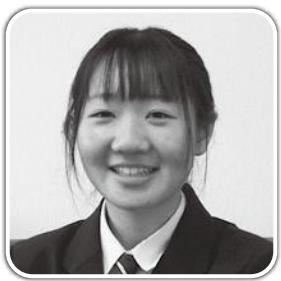
令和2年から建設を進めていました千種市民協働センターが完成し、令和3年12月27日から利用開始されました。千種市民協働センターはこれまでの千種市民局とセンターちくさの機能を融合させた施設となっており、千種町に住む皆さんにとって生活の中心となる施設をめざし建設されました。



▲千種市民協働センター外観
温かみのある雰囲気の建物です。

また、施設の愛称を募集していましたが、上山莉歩さんと脇本健治さんが提案する『ライブリーちくさ』に決定されました。“ライブリー”とは“生き生きとした”、“にぎやか”などの意味があり、『いつもたくさんの人でにぎわい、生き生きと活気あふれる場所になってほしい』という願いが込められてつけられました。命名者の一人の上山さんは「まさか選ばれると思っていなかった。ライブリーちくさが活発なところになってほしい。」と話されました。

5月ごろまでセンターちくさの解体などの工事が行われるため、今後とも駐車場に制限がありますが、会議室やホールの貸館は1月から開始されています。ぜひ、新たな建物を見て、使って、楽しみましょう！



▲愛称『ライブリーちくさ』
を提案された上山莉歩さん



**気軽に相談して
たくさん使ってね！**



千種生涯学習事務所▶
大西所長

建物を使いたいときは**千種生涯学習事務所**にお聞きください！

お問い合わせ電話番号は**76-2210**です♪

【千種市民協働センター】

愛称：ライブリーちくさ

住所：宍粟市千種町千草 168 番地

電話：0790-76-2210

構造：RC 造 3 階建

1階：行政窓口、ロビー

2階：多目的室、会議室1・2・3、和室、
調理室、休憩スペース、屋外広場

3階：ホール

《ちくさ少女バレーボールクラブ》

8月1日（日）、第33回宍粟市小学生バレーボール大会が開催されました。

予選リーグを1位で通過したちくさ少女バレーボールクラブは、決勝トーナメントに進み、見事『優勝』に輝きました。今季、初めての優勝に、子供たちはもちろん、指導者さん、保護者も皆一緒に喜びました。

ちくさ少女バレーボールクラブは、千種小4名、波賀小3名、計7名で活動しています。

今はこのコロナ禍でなかなか思うように練習ができないのですが、みんな日々の練習に励んでいます。これからも良い結果を少しでも残せるよう、みんなで頑張っていきたいです!!

(5年1名・4年3名・3年2名・2年1名)



「アンケート報告会」

報告

～ 千種まちづくり推進委員会・千種町連合自治会 ～

去る 11 月 17 日、千種小学校体育館において千種まちづくりアンケートの調査結果の報告とそれに基づく意見交換会を行いました。60 名あまりの参加者による活発な意見交換が行われ、盛況な会となりました。とりわけ千種高校生徒会によるちくさ高原ネイチャーランドでの「映画祭」の企画発表や、意見交換会での積極的な発言は大変頼もしく、参加された地域の方々からも賞賛の声があがりました。

アンケート調査分析結果報告を踏まえ、8 グループで行われた意見交換会の討議について概要をお知らせします。

意見交換会における討議記録

※①千種の現状と将来②千種の将来像について各グループでまとめ、それを全体で総括したもの

～千種地域のこれからのまちづくり～

- ・助け合う地域 ・教育、子育て ・まちづくりを考える人を増やす
- ・自然、動物、と共生する ・映画祭（千種高校生徒会企画）をみんなで応援しよう
- ・千種高校を軸に ・地域全員参加 ・楽しいまちに ・田舎の良さを活かす
- ・エンターテイメント＝自然を活かした自然の中で自由に楽しめる
- ・住みやすいまち…協力し合う ・ちくさ高原を中心に ・自給自足のまち
- ・見守り、見守られるまち
- ・安心して暮らしていける…獣害対策・買い物支援



☆ 「ちくさええとこ未来会議」ご案内

この意見交換会を踏まえて更に具体的な推進内容・方法について「ちくさええとこ未来会議」と銘打って、下記の要領で意見交換を行います。

参加は自由です。みなさんふるってご参加ください。詳しくは広報「しそう」1月号に折り込むチラシをご覧ください。

ちくさええとこ未来会議

日 時： 2022年1月23日（日）午前9時30分～

場 所： 千種市民協働センター（ライブリーちくさ）

問合せ先： 千種まちづくり推進委員会 TEL 0790-71-0230

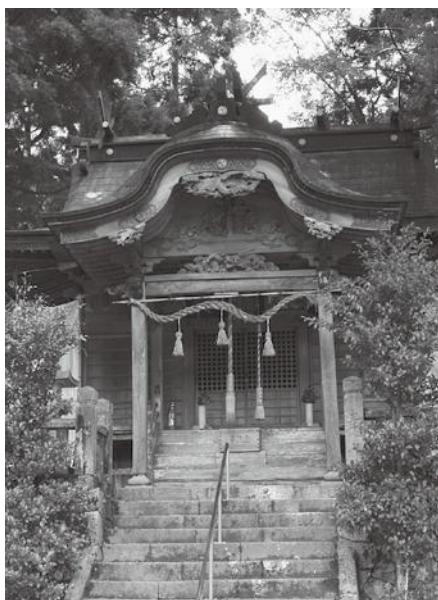


鍋ヶ森神社と雨乞い

NHKの連続テレビ小説「おかえりモネ」を観ていて、「観天望氣（かんてんぼうき）」という言葉を知りました。それは、「天気に関することわざや言い伝え」のこと。例えば

- ・朝焼けは雨、夕焼けは晴
- ・ヒバリが高く昇ると晴
- ・ツバメが低く飛ぶと雨
- ・山に笠雲がかかられば雨
- ・朝霧は晴
- ・月がかさをかぶると雨
- ・ガイザーの多い年は雪が多い
- ・倉谷雨に傘要らず

明日の天気はどうなるか？梅雨はいつ明けるのか？今年の冬は雪の心配は無いのか？今後台風はどう進むのか？いつの時代も短期長期の天気を知ることは人類にとって、いや地球上のすべての生物にとって切なる願いです。近年は毎年のように集中豪雨が列島各地に被害をもたらし、いずれは当方もとの心配も尽きません。気候変動対策は喫緊の課題となっています。



峯王神社（現鍋ヶ森神社）

雨乞いの方法はと言うと、「千駄焚き（せんだたき）」と言って、大きな火を焚き、踊りを踊り、神主が祝詞を上げてご祈祷をしました。千駄焚きの「千駄」というのは、馬1頭が背負って運ぶ薪（まき）の量を1駄と言い、その千頭分の薪を焚いたから「千駄焚き」なのです。また、「踊り」は鍋ヶ森様は踊りが好きだというので、神様を喜ばせるために鉦（かね）や太鼓をうち鳴らし、雨乞いの踊りを村中総出で踊りました。一方、遠くからの参拝者は、お灯明（おとうみょう）の火を、火縄に移して持ち帰り、それを火種に自分の村で千駄焚き（せんだたき）をしました。「千駄の薪」については意見のわかれる所だと思います。1駄は約135kg。私も最初は幾ら雨乞いの祈願とは言え、千駄は多すぎる。「すごく大きな火を焚いた」の意味だろうと思っていました。どれくらい効き目があったのか、どれくらいの確率で雨を降らせることができたのかは、記録がないのでわかりません。ただ、この神事は理には叶っています。気象予報士の試験を受けるモネが菅波先生と勉強していた「地表が暖められ、上昇気流が起こると、積乱雲が発生する」というのは科学的です。「積乱雲が発生する」ほどに温度を上げるには、「千駄」もまんざら嘘ではない気もいたします。全国各地で行われてきた雨乞い神事のほとんどが大火を焚いています。その中でも鍋ヶ森さんは高い確率で雨を降らせることができたのでしょう。多くの人々が雨乞いに訪れたことがその証拠です。

※引用文献 千種町史 千種村史 兵庫県民俗調査報告「千種」
鳥羽弘毅著「想い出の記」

※知る人ぞ知る秘密のパワースポット鍋ヶ森神社の奥の院についてはまたの機会に・・・

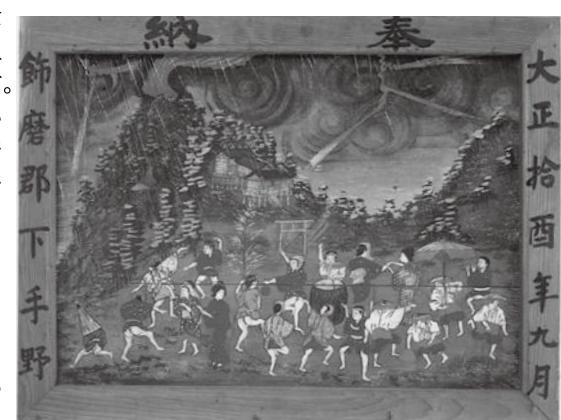
（春名 勉）



石碑「元鍋ヶ森神社鎮座地

さて、みなさんは千種町西河内に鎮座する「鍋ヶ森（なべがもり）神社」をご存じですか。スキー場へ向かう道の、人家が無くなる三叉路から300mほど登った所に「元鍋ヶ森神社鎮座地」と書かれた立派な石碑が建っています。2基の鳥居をくぐり境内に立つと、静寂の中に沢の水音だけが聞こえ、今も何やら神々しさを感じるとともに、いつも、美しく掃除がなされていることに人々の信仰の深さを思います。石碑はここが鍋ヶ森神社が元在った場所だと伝えています。大正6年、道幅拡張の工事のため鍋ヶ森神社は当地からの移転を余儀なくされ、鍋ヶ森神社の神様はやむなく西河内の村中に鎮座する峯王神社（みねおうじんじや）へ合祀（ごうし）されたのです。二柱以上の神様を合わせて一緒に祀ることを「合祀」と言います。それ以降、峯王神社よりも鍋ヶ森神社の方が有名（？）になり、峯王神社は鍋ヶ森神社になりました。

鍋ヶ森神社は「雨乞い」の神様として有名でした。近隣の村々はもちろん、岡山県、鳥取県、但馬、東播、さらに遠く四国の地からもお参りがありました。これは、それほど遠い昔の話ではありません。昭和60年頃、先頃亡くなった鍋ヶ森神社の宮司さんが、「ご祈祷を頼まれました。愛媛県から大勢でおいでらしい、プレッシャーがかかります」と話されたのを記憶しています。播磨の奥地、我が千種町にある小さなお社が、雨乞いの神社として多大な信仰を集めたことは驚きですし、ある種の誇らしさを感じます。



現鍋ヶ森神社に架かる絵馬
奉納大正10年 下手野村 雨乞いの踊り

ペンリレー 第9回

清水 将 司さん



Q 自己紹介

清水 将司 34歳

富山で働いていましたが、家庭の事情で 2021 年 5 月に千種に帰ってきました。



Q お仕事は何をされていますか？

清水電気商会で電気工事をしています。

Q 趣味は？

スキーです。フリースタイルというものを5年程前に知って、興味を持ちました。雪がない時期はスキージャンプの練習施設に遊びにいっています。

Q 何をしている時が一番楽しいですか？

車の洗車です。休日にかなりの頻度で洗っています。



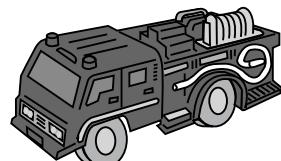
Q 夢は何ですか？

宝くじを当てることです。

Q 千種町への思いは？

少人数ながら田舎らしい楽しい町になってくれたらなと思います。新しく庁舎もできたので、色々活用したいです。「ライブリーちくさ」期待しています。

安曇市消防団 千種支団 奥西山部の紹介

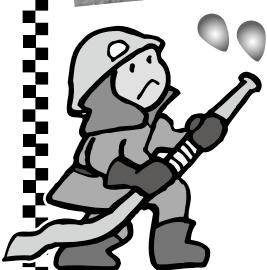


奥西山部は少人数の部ですが、多彩な趣味の団員を、しっかり者の部長が上手くまとめています。

高くそびえる島谷に見守られ、地域を守るという意識を持ち、点検や水源の掃除など、日頃の活動を協力しあってこなしています。

団員が年々減っていますが、自治会ごとに消防団は必要と考え、奥西山部を存続させることが使命です。

常時団員を募集していますので、いつでも、どなたでも声をかけて下さい。

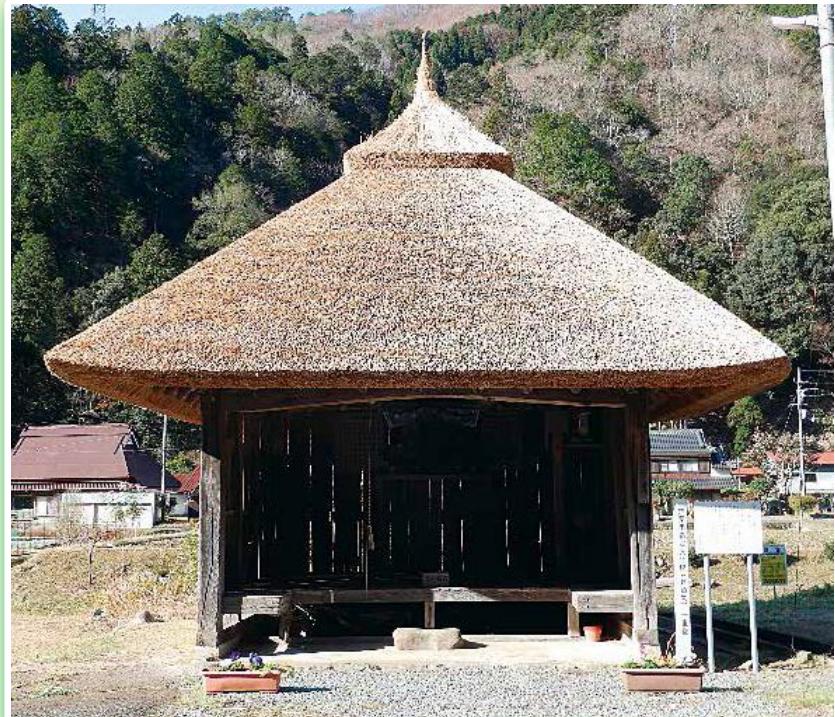


下河野の一里堂、17年ぶりの葺き替え

一里堂は江戸時代に主要街道に設置された道標の一種で、下河野の一里堂も江戸時代終わりころに建てられたものと見られます。ここからは「塩地（しおじ）峠」に向う古道が山腹に斜めに取り付き、徐々に高度を上げながらほぼ南北方向に向かっています。峠の頂上からは急斜面を下り、山崎町大沢に至るほぼ南北方向の直線的な峠道となっています。

この峠道は、江戸時代に千種町一帯で盛んに行われた「たたら製鉄」で生産された「千草鉄」や年貢米などを三河方面へ迂回せずに、山崎方面に運ぶために開かれたといわれています。山崎からは出石（いだいし）の船着場で高瀬舟に積み替えて揖保川を下り、網干まで運ばれて行きました。帰りには、食料品や衣料などを買い付けて再び塩地峠を越えて千種まで帰ってきました。

下河野の一里堂は、千種の玄関口とも言える場所にあり、塩地峠を行き来した多くの人々が、ここで休憩や雨宿りなどをしたことと思われます。平成16年に行われた前回の葺き替え工事より17年が経過し、茅葺屋根の茅がかなり傷んだ状態になっていました。このため、宍粟市ではこのたび茅葺屋根の全面葺き替え工事を行い、美しい茅葺屋根の姿が蘇りました。



♥こんにちは赤ちゃん♥



黒土 岸本 啓太（けいた）ちゃん

【メッセージ】大好きなお兄ちゃんと一緒にたくさん食べて、遊んで、寝て元気に大きくなつてね♪大好きだよ！スクスク元気に大きくなつてね。（父：和也さん 母：奏さん）



鷹巣 藤原 晖琉（ひかる）ちゃん

【メッセージ】お兄ちゃんと仲良く元気に育つてな♡
(父：弘希さん 母：佳奈子さん)



河呂 寶谷 叶奈（かな）ちゃん

【メッセージ】産まれてきてくれてありがとう！元気いっぱい、優しい子に育つてね！（母：京己さん）



西河内 金本 繁（つなぎ）ちゃん

【メッセージ】いつも元気にお兄ちゃん達とたくましく遊んでいます。道行く人に挨拶するのが楽しみです。（父：道春さん 母：菜穂子さん）



河内 林 唯登（ゆいと）ちゃん

【メッセージ】いつもステキな笑顔で癒してくれてありがとう。パパもママも唯登くんのことが大好きだよ。（父：有一さん 母：愛子さん）



赤ちゃん写真大募集！
新しい可愛い家族を紹介してください。